

 studiologic®

numaxPIANO

Numa X Piano GT

Numa X Piano 88

Numa X Piano 73

USER MANUAL

日本語版

重要安全事項



高電圧注意!

感電の恐れがあるため、分解は絶対におやめください。本体内部にスペア部品などは一切付属しておりません。修理は当社の販売店またはディリгент・テクニカルサポートまでお申し付けください。



湿気について

感電のリスクを避けるために、本機を雨や湿気の多い場所には設置しないでください。また、液体を含むものを本体の上に置くこともおやめください。プールやバスタブ、湿気の多い地下室などでのご使用もおやめください。また、付属の電源アダプター以外でのご使用をおやめください。本機を低温の場所から高温の場所へ移動した場合、本体内部に凝結が発生する場合があります。この場合、本体が部屋の気温に十分馴染んでから電源を投入してください。



本機の性能を知っていただき使いこなしていただくために、本マニュアルの熟読をお奨めいたします。

付属品はマニュアルに従ってご使用ください。また本マニュアルに指示された以外、不正な作業が行われて本機に不具合が発生した場合、保証を受けられなくなりますのでご注意ください。



電源

電源に接続する前に、電源が本機に適しているか確認してください。本機は付属の電源アダプターを使用して100～240VACの電力供給によって動作します。

注意：本製品は、コンピューターや他のUSB電源からUSB端子経由でも電源供給が可能です。



設置について

サイズ、重量を考慮し、安定性の高いラックなど をご使用ください。

掃除/メンテナンスについて

強力な洗剤は絶対に使用しないでください。表面に染みがつく原因となります。軽く水をしみこませたマイクロファイバーの布でのお掃除をお奨めいたします。

パッケージについて

すべての梱包材は保管をお願いします。輸送時、または修理が必要な場合など、製品を保護するために使用してください。

目次

重要安全事項	2	プログラムエディット	15
Your new Numa X Piano	4	キーボードレンジ	15
製品概要	4	インサート FX A	15
主な機能	4	インサート FX B	16
テクノロジー	5	マスターディレイ	16
サウンドテクノロジー	5	マスターリバース	16
キーボード	5	変更を保存	17
接続	6	プログラムをお気に入りに追加する	17
電源	6	ゾーンエディット	18
ペダル	6	サウンドの選択	18
オーディオ入力	6	ゾーンを MIDI に割り当てる	18
オーディオ出力	6	ズーム・モード	19
MIDI イン/アウト	6	サウンドエディット	21
USB 端子	6	アコースティック・モデリング	21
使用例	7	エフェクトリック・モデリング	21
パネル	8	その他のサウンド	21
マスターノブ	8	オーディオ入力	22
インストゥルメントとオーディオゾーン	8	はじめに	22
システムナビゲーション	9	ズーム・モード	23
サウンドとお気に入り	9	マスターエフェクト	23
インサートとマスターエフェクト	9	USB オーディオ	23
ユーザーインターフェース	10	MIDI 接続	24
新しいユーザーインターフェースの概念	10	外部デバイスをコントロールする	24
ステップ 1:色と選択	10	Numa X Pianoを外部コントローラーで演奏する	24
ステップ 2:長押しと編集	11	グローバル設定	25
ステップ 3:ナビゲーションアイコン	12	ファームウェアのバージョンとアップデート	25
Numa X Pianoを演奏する	13	機能リスト	25
プログラムとの連動	13	宣言	27
プログラムの選択	13	付録	28
お気に入り	14	サウンドリストとMIDIマップ	28
エフェクト	14	製品サポートについて	31



Your new Numa X Piano

製品概要

Numa X Pianoは、まったく新しいテクノロジーと革新的なユーザーインターフェースに基づき、スタイリッシュで頑丈なキャビネットに詰め込まれた、非常にパワフルな楽器です。

キーボードにはアフタータッチ・コントロールが搭載されており、プログラム可能なスティックと合わせることで演奏を完全に制御することができます。

新しいサウンドエンジンは、「最大同時発音数300音」「内蔵音源、外部MIDIデバイスを管理する為の4つの独立したパート」「8つのサウンドバンクで構成された200以上のサウンド（レイヤー、スプリット・モードで任意の鍵盤に割り当て可能）」が含まれています。

各パートに2つのエフェクト（インサートFX A / B）、8つの独立したインサートエフェクト、2つのマスターエフェクト（ディレイおよびリバーブ）により2GB（フラッシュメモリ）のサウンドは、さらに強化されています。

洗練されたフィジカルモデリング・テクノロジーは、素晴らしいビンテージエレクトリックピアノサウンドや、サンプルと融合した革新的なハイブリッドエレクトリックピアノサウンドを実現します。

コントロール可能なストリング・レゾナンス、デュプレックス・スケール、ペダルノイズ、リリース・スタッカート・サンプルは、メインのピアノサウンドをよりリアルにし、まったく新しいステレオリバーブエフェクトによってサウンドがさらに強化されます。

オーディオ入力（マイク/ライン）用の4つのオーディオゾーンとマスターFXにより、アナログ楽器（ギター、ベース、ボイス）を追加し、完全な音楽パフォーマンスを行うことができます。USBオーディオを使用すると、Numa X Pianoをコンピューターやモバイルデバイスに接続して、デジタルレコーディングやバックトラックの再生ができます。

充実したEQセクション（ベース、パラメトリックミッド、トレブル）により、スタジオ品質のサウンドに到達できます。



主な機能

- ・ アダプティブカラーコントロールを搭載したUXロジック機能
- ・ 強化されたTRSテクノロジーと高解像度スペクトル補間を備えたアコースティックピアノサウンド
- ・ ヴィンテージエレクトリックとハイブリッド物理モデリングによるエレクトリックピアノサウンド
- ・ 高品質なFatar製ハンマーアクションキーボード
- ・ 内部サウンド、外部MIDIに割り当て可能な4つのゾーン
- ・ 専用エフェクトを搭載した4つのオーディオ入力ゾーン（マイク/ライン）
- ・ ゾーンパラメーターを素早く編集するズーム機能
- ・ お気に入りストレージ
- ・ グローバルEQ: ベース、ミッド、トレブル
- ・ 200以上のファクトリーサウンドを備えた8つのサウンドバンク
- ・ ズーム機能で起動できる各サウンド専用のコントロール機能
- ・ インサート FX1、インサート FX2、マスターディレイ、マスターリバーブで構成されるワイドエフェクトセクション
- ・ USB経由のオーディオ
- ・ 2つのスティック

テクノロジー

サウンドテクノロジー

Numa X Pianoは、2つの異なる合成テクノロジーに基づいています：

- ・ 物理モデリング
- ・ デジタルサンプリング

物理モデリングは、エレクトリックピアノとハイブリッドピアノのサウンドに使用されています。

物理モデリングテクノロジーの次の機能によって、アコースティックピアノのサウンドをよりリアルに表現します：

- ・ スtring・レゾナンス(弦の共振、ダンパーモデル)
- ・ デュープレックス・スケール・レゾナンス(ダンパーなしの弦の共鳴によって発生する高次倍音)

これらの洗練されたアルゴリズムを音響モデリングと呼びます。

特別な浮動小数点DSPユニットは、プロフェッショナルなエフェクトを生み出します。デジタルリバーブ、コーラス、フランジャー、フェイザー、オーバードライブ、ロータリースピーカーシミュレーターは、オリジナルのアナログバージョンをモデリングすることによって開発されています。

Electric
MODELING

Acoustic
MODELING

キーボード

サウンドテクノロジーを最良の方法で制御するためには、優れたキーボードが必要です。

Numa X Piano GT:
新しいFatar Grand Touch TP/400 WOODキーボードを搭載しています。

Numa X Piano 88 / 73:
TP/100LRの進化形である新しいTP/110キーボードを搭載しています。

GRAND TOUCH
SUPERIOR WOOD KEYBOARD

PRO Touch
KEYBOARD

接続

すべての接続端子は機器の背面にあります。



電源

ACアダプターをご使用の際は、必ず付属のACアダプター（12 V-2.5 A）をお使いください。

ペダル

割り当て可能なペダル接続：

- ・ Ped 1: スイッチ/コンティニュアス
- ・ Ped 2: スイッチ/コンティニュアス
- ・ Ped 3: スイッチ/コンティニュアス + マルチファンクション

互換性のあるスイッチまたはコンティニュアスペダルをPed 1かPed 2に、専用3本ペダル(Studiologic SLP3-D)をPed 3に接続できます。

オーディオ入力

Numa X Pianoは、外部楽器（ギター、ベース、キーボードなど）またはマイク（ボーカルや管楽器など）用に最大4つの独立したオーディオ入力が可能です。オーディオ信号は、EQとマスターエフェクトで処理することができます。

オーディオ出力

Numa X Pianoには3つのオーディオ出力があります。

- ・ 右
- ・ 左（モノ）
- ・ ヘッドホン

MIDI イン/アウト

MIDI接続により、外部MIDIデバイスを制御したり、Numa X Pianoを他の外部MIDIデバイスに接続し、関連するすべてのデータ送信（ノート情報、プログラムの変更など）することが可能です。

USB 端子

USBケーブルでコンピューターに接続し、次の機能を使用できます。

- ・ MIDI入出力データを転送しシーケンサーや外部デバイスでの録音、再生
- ・ DAW（デジタルオーディオワークステーション）でのデジタルオーディオ録音用のオーディオ入出力
- ・ ファームウェアの更新

使用例

一般的なスタジオのセットアップ接続：



この例では、Numa X Pianoを一般的なスタジオセットアップで使用方法を説明します。

接続方法：

- ・ **USB端子**にDAWまたはスタンドアロンソフトウェアを実行している**コンピュータ**を接続
- ・ **MIDI出力**に**シンセ**を接続
- ・ 2つの**オーディオ出力**にステレオ**アクティブスピーカー**を接続
- ・ 2つの**オーディオ入力**に**外部シンセオーディオ出力**を接続
- ・ **オーディオ入力**に**ダイナミックマイク**を接続
- ・ **ペダル**1、2、3に**サスティン**(スイッチ)、**エクスプレッション**、**マルチファンクション・ペダル**を接続

この構成では、USB接続により、コンピュータでのMIDIおよびオーディオ録音が可能です。外部シンセは、Numa X PianoまたはMIDIマージを使用することでコンピュータから直接制御できます。Numa X Pianoは、デジタルオーディオサウンドカード(USBオーディオインターフェース)としても機能し、外部シンセサイザーやマイクからの音声を録音することができます。

パネル



マスターノブ

メインボリューム
割り当て可能なエンコーダー

システムナビゲーション

ディスプレイ
ナビゲーションボタン

インサート&マスターエフェクト

インサート FX 1 / 2
マスターディレイ、マスターリバーブ



インストゥルメント&オーディオゾーン

サウンドとお気に入り

サウンドバンク/お気に入りセレクター
スプリットとゾーンをMIDI送信する

マスターノブ



メインボリューム

オーディオ入力信号を含む、Numa X Pianoのメインボリュームを制御します。

割り当て可能なエンコーダー

プッシュ機能付きデジタルエンコーダー。
長押ししてパラメーターを割り当てます。

インストゥルメントとオーディオゾーン



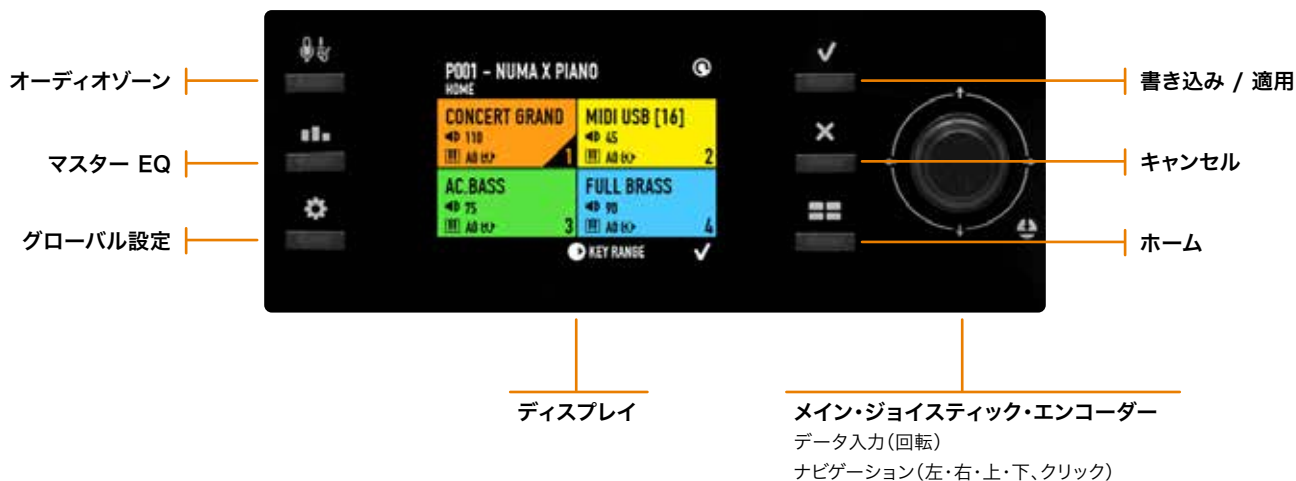
ゾーンエンコーダー

クリック > ミュート
回す > ボリューム
長押し > ソロ

ゾーンボタン

クリック
長押し > ゾーンを選択
(ズーム) > メインゾーンのパラメーターを制御する

システムナビゲーション



サウンドとお気に入り

このセクションでは、サウンドとお気に入りの選択、スプリットポイント、ゾーンをMIDI出力に割り当てることができます（外部サウンドモジュールまたはバーチャルインストゥルメントを制御するため）。



インサートとマスターエフェクト

すべてのゾーンは、2つの異なるインサートエフェクト内にある8種類のエフェクトを使用でき、2つのマスターエフェクト（ディレイとリバース）センドも可能です。



各エフェクトは2つのエンコーダーでコントロール可能

ユーザーインターフェース



新しいユーザーインターフェースの概念

Numa X Pianoには、UXロジックと呼ばれる新しいユーザーインターフェースが導入されています。

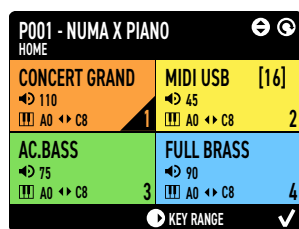
この新しいアプローチは、3本の柱に基づいた言語を学習し、各画面やメニューの使用方法を学ぶ必要なしに、あらゆる場面に適応できることを基本としています。



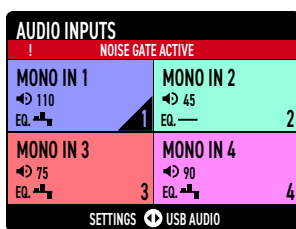
ステップ 1：色と選択

UXロジックの最初の原理は「色」です。

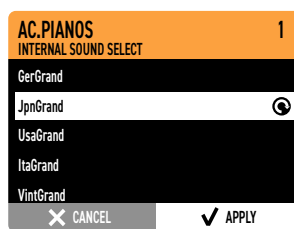
サウンド、MIDI、オーディオのゾーンにはそれぞれ独自の色があり、ゾーンを編集すると、インターフェースは関連する色を装います。ディスプレイには、選択したパラメーターもその色で表示されます。この機能により、ミュージシャンは常に自分がどの部分を操作しているか知ることができます。いくつかの例では：



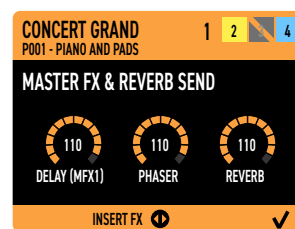
ホーム



オーディオ入力



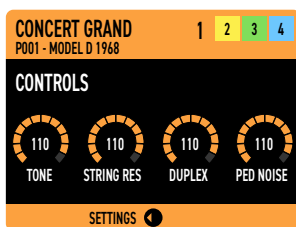
サウンドの選択



マスター FX 設定



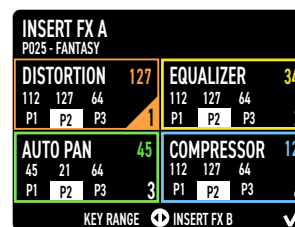
ズーム・パラメーター・ノブ



ズーム・パラメーター



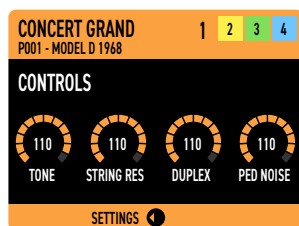
インサート&マスター FX ノブ



インサート FX 設定

UXロジックのインターフェースでは、次の2つの方法で4つのゾーンをプログラムできます。

- ・ 内部ページから新しいゾーンを選択する(ズーム・モード)
- ・ 同じページですべてのゾーンを表示する

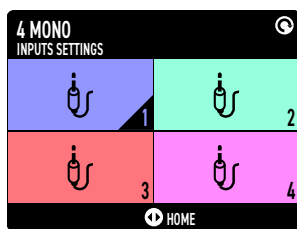


ズーム・モード

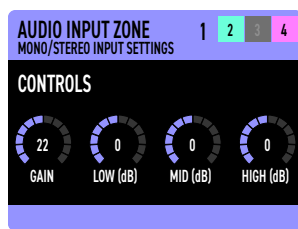


ゾーン・レベル

Numa X Pianoでは、最大4つの異なるアナログ楽器やマイクを接続できます。
このセクションでは、2つ目のカラーセットが実装されています。



オーディオ入力設定



オーディオ・パラメーター



オーディオ・パラメーター・ノブ

グローバルページとマスターEQページは、ゾーンではなく全体的な情報を参照するため、白色を採用しています。

ステップ 2：長押しと編集

UXロジックの2つ目のステップは長押しです。

UXロジックにおいて長押しは編集を意味し、パネル上に角括弧“【】”で表示されています。

Numa X Pianoは、パラメーターを編集するためのメニューやサブメニューがありません。それらは、長押し1つで、使用可能なページがナビゲーションアイコンで案内されます。




ゾーンセレクトボタン
長押し > ズーム・モードに入る


ゾーンセレクトボタンを長押しすると、ズーム・モードになり、サウンドの主要パラメーターを変更できます。
エフェクトセクションでは、リストから目的のエフェクトタイプを表示して選択できます。
スプリット・モードでは、長押しにより、スプリットポイントを非常に高速かつ簡単に編集できます。

ステップ 3：ナビゲーションアイコン


ディスプレイには、ナビゲーションが一連のアイコンで表示されます。各画面では、アイコンと対象ページで操作をガイドし、メインのジョイスティック・エンコーダーで使用可能なアクション(上/下、左/右、回転、プッシュ)を表示します。これらのアイコンは、使用状況に応じて特定のエンコーダーを参照できます。(例：FXパラメーター)。

 水平スクロール

 回転

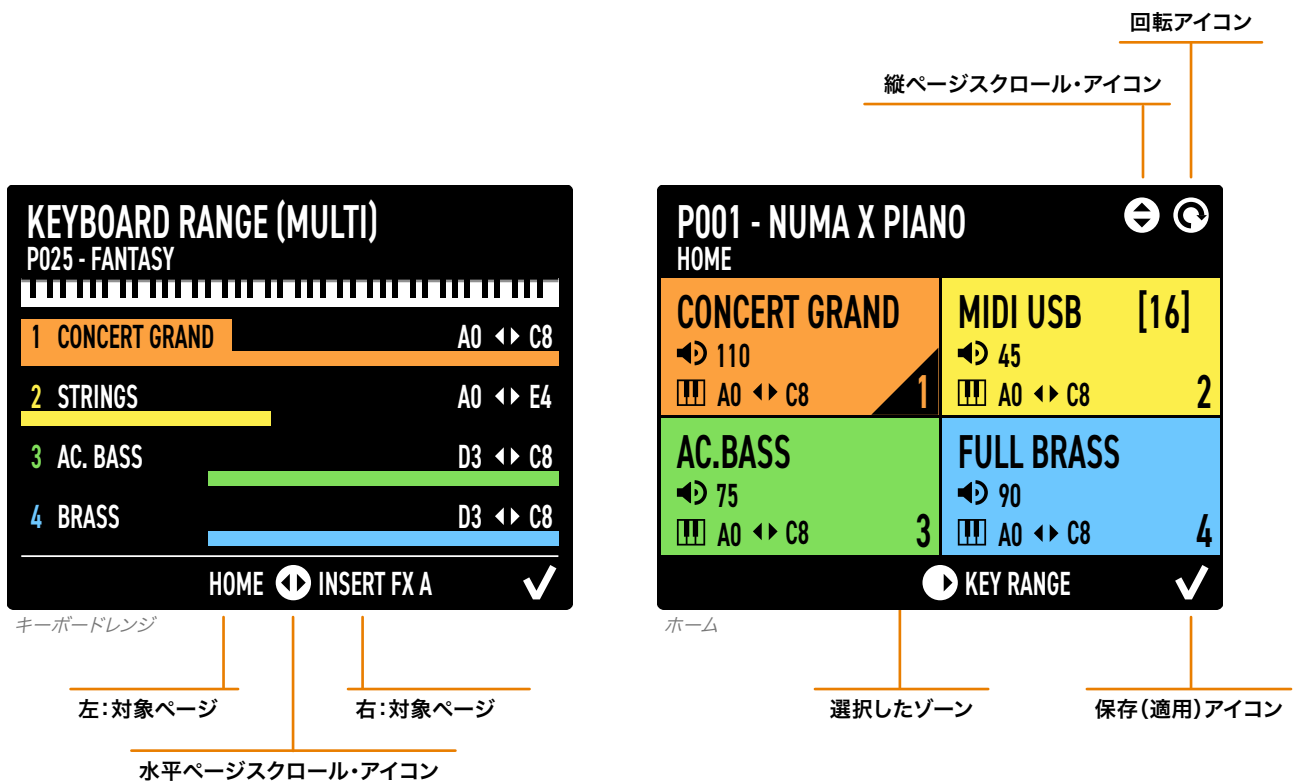
 適用

 縦スクロール

 プッシュ

 キャンセル

以下の画面は、さまざまなインターフェースのページにおけるナビゲーションアイコンの例です。



Numa X Pianoを演奏する



プログラムとの連動

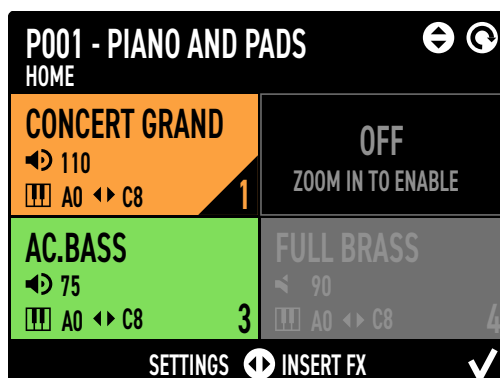
Numa X Pianoはプログラムで構成されています。1つのプログラムは4つのゾーンで構成され、各ゾーンは、内部サウンドまたは外部MIDIデバイスをコントロールできます。各プログラムには、すべてのズームパラメーターとエフェクト設定が保存されています。

ゾーンはそれぞれ異なるステータスにすることができます：

- ・ オン(色付き)
- ・ オフ(黒)
- ・ ミュート(灰色)

ホーム画面には、各ゾーンの現在のサウンド(またはMIDI)、音量、キーボードレンジが表示されます。

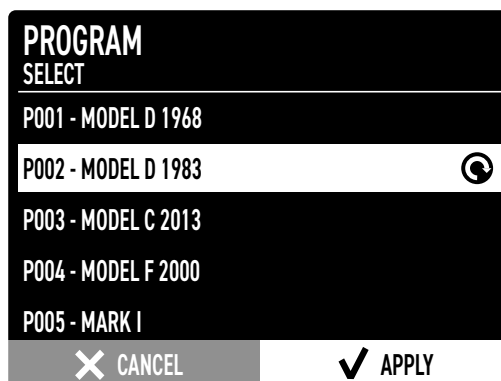
- ・ ゾーンノブを回して音量を変更します。
- ・ ゾーンセレクトボタンを長押ししてズーム・モードに入り、使用可能なパラメーターを編集します。
- ・ ノブをクリックして、関連するゾーンをミュートします。
- ・ ノブを長押しして、関連するゾーンをソロにします。



プログラムの選択

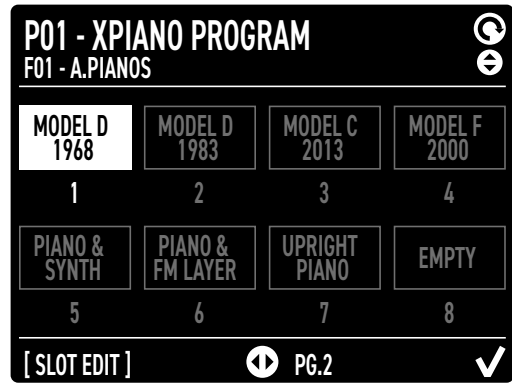
メインエンコーダーでプログラムを選択するには次の2つの方法があります。

- ・ 回転させる(順番に変更する)。
- ・ 上/下をクリックする(リストビューと目的のプログラムへのジャンプ)。



お気に入り

プログラムは最大16のお気に入りにグループ化ができます。お気に入りは、選択したプログラム(最大24)を好きな順序で並べたものです。お気に入りを使用すると、プログラムに直接アクセスして、ライブパフォーマンス中に必要なサウンドを素早く切り替えることができます。



エフェクト

ライブパフォーマンス中、ミュージシャンはリアルタイムでインサートエフェクトやマスターエフェクトにアクセスできます。

編集可能なパラメーターは次のとおりです：

- ・ オン/オフ
- ・ エフェクトの量
- ・ エフェクトタイプ
- ・ P1
- ・ P2
- ・ P3

P1 ~ 3は、選択したエフェクトによってパラメーターが異なります。



プログラムエディット

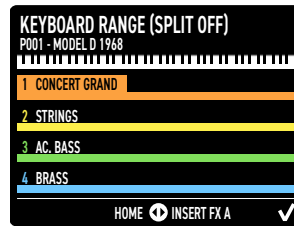


プログラムは、4つのゾーン(内部サウンドまたは外部MIDIデバイスコントロール)のセットで構成されています。ホーム画面から、プログラムページを水平方向にスクロールして移動します:

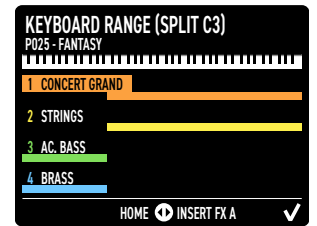
- ・ キーボードレンジ
- ・ インサートFXA
- ・ インサートFXB
- ・ マスターディレイ
- ・ マスターリバーブ

キーボードレンジ

キーボードレンジのページでは、4つのゾーンレンジが同時に表示されます。



スプリット・オフ



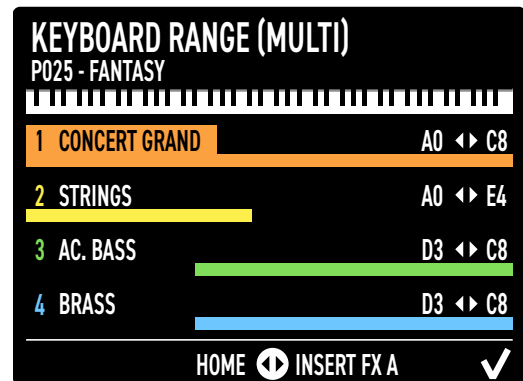
スプリット・オン

スプリットボタンを押すと、スプリット機能のオン・オフを切り替えられます。

その後、スプリットボタンを長押ししてスプリットポイントを編集します。

スプリットポイントは次のように設定できます:

- ・ シングル(全ゾーン共通編集)
- ・ マルチ(各ゾーン別編集)

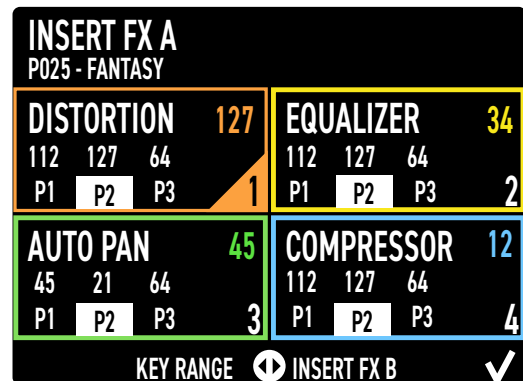


インサート FX A

この画面には、各ゾーンに割り当てられたインサートエフェクトAとメインパラメーターの値が表示されます。

使用可能なエフェクト一覧:

- ・ Distortion (ディストーション)
- ・ Auto Pan (オートパン)
- ・ Overdrive (オーバードライブ)
- ・ Tremolo (トレモロ)
- ・ Auto Wah (オートワウ)
- ・ Vibrato (ビブラート)
- ・ Pedal Wah (ペダルワウ)
- ・ Equalizer (イコライザー)
- ・ LFO Wah (LFOワウ)
- ・ Compressor (コンプレッサー)



インサート FX B

この画面には、各ゾーンに割り当てられたインサートエフェクト2とメインパラメーターの値が表示されます。

使用可能なエフェクト一覧：

- ・ Chorus 1 (コーラス1)
- ・ Chorus 2 (コーラス2)
- ・ Flanger 1 (フランジャー1)
- ・ Flanger 2 (フランジャー2)
- ・ Phaser 100 (フェーザー100)
- ・ Phaser 90 (フェーザー90)
- ・ Phaser HMX (フェーザー HMX)
- ・ Phaser Pad (フェーザーパッド)
- ・ Rotary (ロータリー)
- ・ Auto Wah (オートワウ)
- ・ Pedal Wah (ペダルワウ)
- ・ LFO Wah (LFOワウ)
- ・ Auto Pan (オートパン)
- ・ Tremolo (トレモロ)
- ・ Vibrato (ビブラート)
- ・ Equalizer (イコライザー)
- ・ Compressor (コンプレッサー)

INSERT FX B
P025 - FANTASY

CHORUS 1 127 112 127 64 P1 P2 P3 1	FLANGER 1 34 112 127 64 P1 P2 P3 2
PHASER 90 45 45 21 64 P1 P2 P3 3	COMPRESSOR 12 112 127 64 P1 P2 P3 4

INSERT FX A ◀ MASTER DELAY ✓

マスターディレイ

マスターディレイのページには、次のパラメーターが表示されます：

- ・ ディレイタイプ
- ・ センド1、2、3、4 (4つのゾーンに対応)

MASTER DELAY
P001 - MODEL D 1968

TYPE DELAY 1

◀ P1 120 BPM 1/4

P2 32 FBK

P3 30 HIDUMP

SEND 1 110

SEND 2 110

SEND 3 35

SEND 4 98

INSERT FX B ◀ MASTER REVERB

マスターリバーブ

マスターリバーブのページには、次のパラメーターが表示されます：

- ・ リバーブタイプ
- ・ センド1、2、3、4 (4つのゾーンに対応)

MASTER REVERB
P001 - MODEL D 1968

TYPE ROOM 1

◀ P1 78 TIME

P2 32 EARLY

P3 22 HIDUMP

SEND 1 110

SEND 2 110

SEND 3 35

SEND 4 98

MASTER DELAY ◀

変更を保存

変更を保存するには、**Ok/Apply** を押してください。
次の画面で、名前の変更と設定の保存ができます。

プログラムをお気に入りに追加する

プログラムを24個まで、1つのお気に入りとして登録することができます。

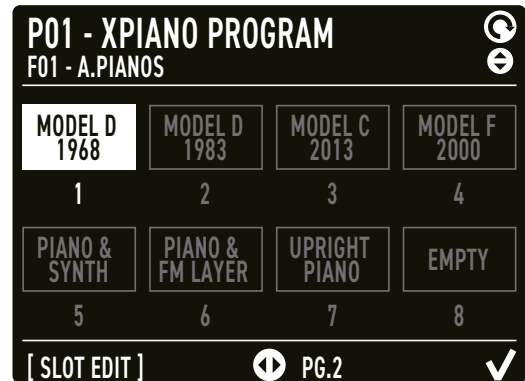
FAVORITE(お気に入り) ボタンを押すと、関連項目が表示されま
す。

メインエンコーダーを上下に動かして、お気に入りを選択しま
す。

メインエンコーダーを左右に動かして、お気に入りのページをスク
ロールします。

1 ~ 8のボタン (サウンドバンクの選択) を長押しして、関連す
るスロットにプログラムをアサインします。

メインエンコーダーを押して、変更を保存します。



ゾーンエディット



サウンドの選択

サウンドバンク/お気に入りセクションでは、選択したゾーンにサウンドを割り当てることができます。

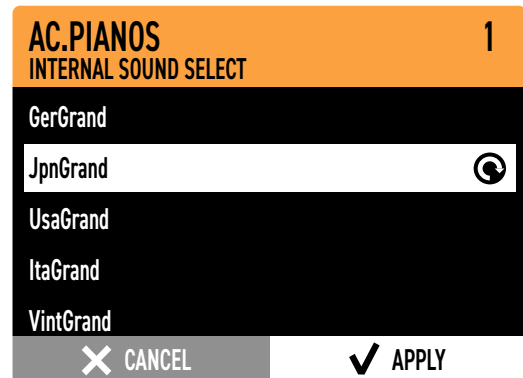
サウンドコレクションは8つのバンクに分かれています：

- ・ アコースティックピアノ(アコースティックモデリング)
- ・ エレクトリックピアノ(エレクトリックモデリング)
- ・ 鍵盤楽器(キーボードとマレット)
- ・ ベース / ギター
- ・ オルガン
- ・ シンセ
- ・ オーケストラ
- ・ その他

サウンドを選択するには、関連するバンクボタンを押しながらメインエンコーダーを回転させます。

APPLY(適用)を押すか、数秒待って選択を確認します。

CANCEL(キャンセル)を押すと、前のサウンドに戻ります。



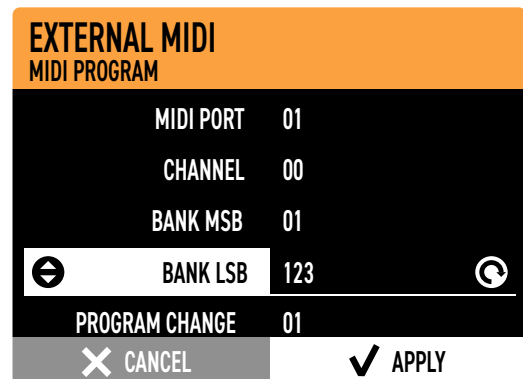
ゾーンをMIDIに割り当てる

MIDIボタンを押すと、ゾーンを外部MIDIデバイスに割り当てることができます。

ディスプレイには、MIDIパラメーターのリストが表示されます：

- ・ MIDI ポート
- ・ チャンネル
- ・ バンク
- ・ プログラムチェンジ
- ・ 名称

メインエンコーダーを上下に動かしてパラメーターを選択し、回転させて値を変更します。

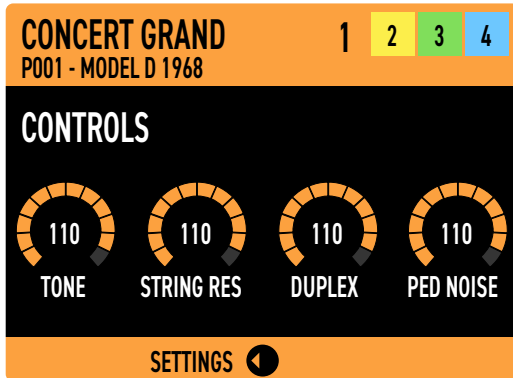


ズーム・モード

ゾーンセレクトボタンを長押しして、ズーム・モードに入ります。ディスプレイには、現在のサウンドを編集するための4つのパラメーターが表示され、ノブは現在のゾーンの色に従います。

ノブを回すとパラメーター値が変動します。

サウンドの種類によって4つのパラメーターは変わります。



アコースティックピアノサウンドのパラメーター例



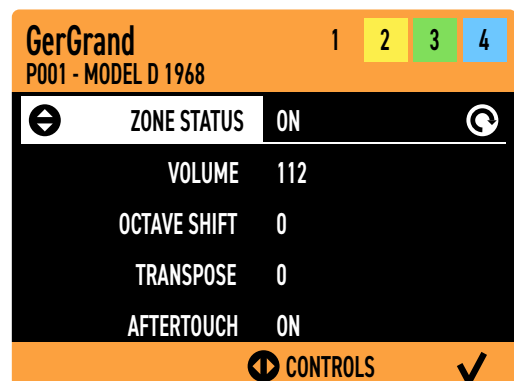
ゾーンのノブは、ゾーンの色に従います

コントロールのページから水平方向にスクロールして、他のページに移動します：

- ・ ゾーン設定
- ・ インサート FX A
- ・ インサート FX B
- ・ マスターディレイ
- ・ マスターリバーブ

ゾーン設定ページでは、ゾーンの主要なパラメーターを編集することができます：

- ・ Status (ステータス)
- ・ Transpose (トランスポーズ)
- ・ Type (タイプ)
- ・ Aftertouch (アフタータッチ)
- ・ Volume (ボリューム)
- ・ Sticks (スティック)
- ・ Octave (オクターブ)
- ・ Pedals (ペダル)



インサート FX A とインサート FX B のページでは、エフェクトタイプ、3つのパラメーター、量をコントロールできます。

INSERT FX A
P025 - FANTASY

DISTORTION 127 112 127 64 P1 P2 P3	EQUALIZER 34 112 127 64 P1 P2 P3
AUTO PAN 45 45 21 64 P1 P2 P3	COMPRESSOR 12 112 127 64 P1 P2 P3

KEY RANGE INSERT FX B

マスターディレイとマスターリバーブのページでは、エフェクトタイプ、センドレベル、3つのパラメーターを設定できます。

MASTER DELAY
P001 - MODEL D 1968

TYPE **DELAY 1**

P1 120 BPM 1/4

P2 32 FBK

P3 30 HIDUMP

SEND 1 110 SEND 2 110

SEND 3 35 SEND 4 98

INSERT FX B MASTER REVERB

MASTER REVERB
P001 - MODEL D 1968

TYPE **ROOM 1**

P1 78 TIME

P2 32 EARLY

P3 22 HIDUMP

SEND 1 110 SEND 2 110

SEND 3 35 SEND 4 98

MASTER DELAY

サウンドエディット



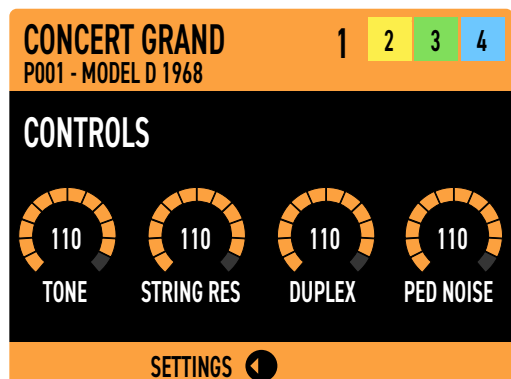
アコースティック・モデリング

アコースティック・モデリングの技術により、アコースティックピアノサウンドはこれまで以上にリアルになりました。グランドピアノの典型的な音響効果をエミュレートするために、高度なDSPアルゴリズムが開発されました。弦、デュプレックス・レゾナンス、リリース、キーオフ・ノイズ、ダンパー・ノイズです。

ズーム・モードでは、トーン、ストリング・レゾナンス、デュプレックス・スケール、ペダル・ノイズをコントロールできます。

アコースティック・モデリングの技術により、ユーザーは利用可能なプリセット(プログラム)から好みのサウンドを得ることができます。

アコースティック・モデリングは、A.PIANOバンクに実装されています。



エレクトリック・モデリング

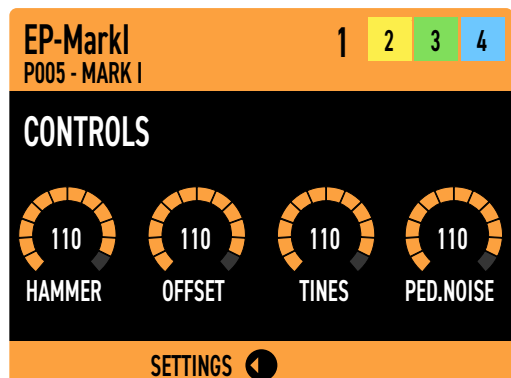
エレクトリック・モデリングとは、Numa X Pianoのフィジカルモデリング・テクノロジーに付けられた名前です。

圧倒的なヴィンテージ・エレクトリックピアノの音から、革新的なハイブリッド・エレクトリックピアノの音まで、それら生み出すその能力は、まるで魔法のようです。数学的アルゴリズムが指の下の音を作り出し、エレクトリックピアノの要素(ハンマー、タイン、オフセット、マイク位置、ペダルノイズ)の動作を再現しています。

ズーム・モードでは、パラメーターの設定によって無限の可能性が得られます。

コントロールできるのは、ハンマー(マイクの近接)、オフセット(Y軸のタイン位置)、タイン(ボリューム)、ペダルノイズです。ファクトリーサウンドは、ヴィンテージサウンドからまったく新しいハイブリッドサウンドまでの幅広い音色を提供します。しかし、そのサウンドはあなたの創造性を解き放つための出発点にすぎません。

エレクトリック・モデリングは、E.PIANOバンクに実装されています。



その他のサウンド

他のサウンドカテゴリー(A.PIANOとE.PIANO以外の全て)では、ズーム・モードで標準パラメーター(カットオフ、レゾナンス、アタック、リリース)を編集できます。



オーディオ入力

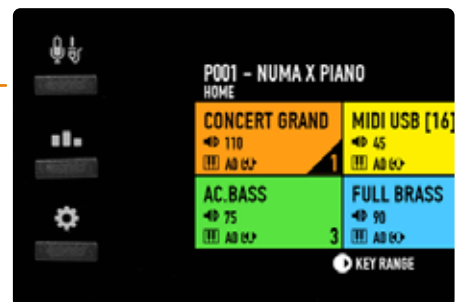


はじめに

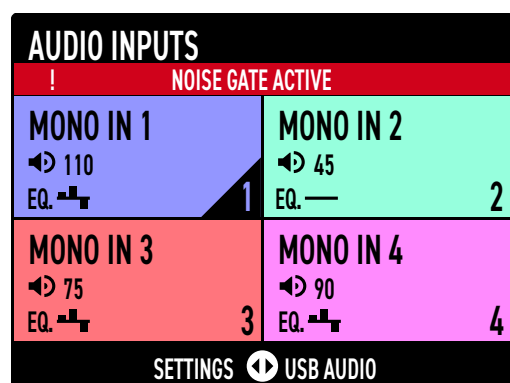
Numa X Pianoは、ダイナミックマイク、ギターやベース、キーボード、オーディオプレーヤーなど、さまざまな目的に応じて最大4つのオーディオ入力を使用できる独自の機能が搭載されています。

専用のオーディオ入力ボタンを押すと、関連する画面が表示されます。

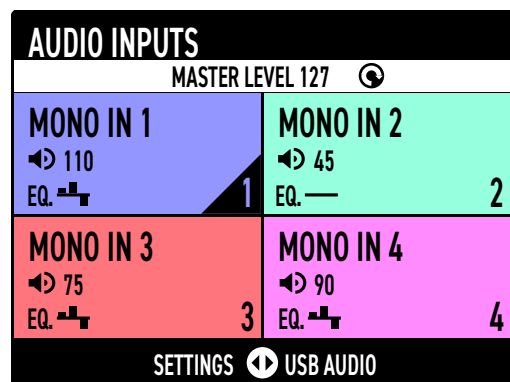
オーディオ入力



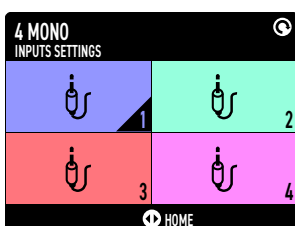
オーディオ入力のホームのページには、2つ目のカラーセットで色付された、主な設定項目が表示されます。



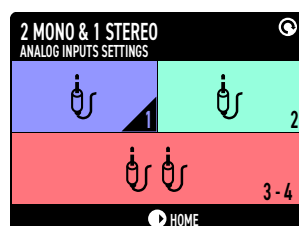
Numa X Pianoからオーディオ信号が受信されるまで、ノイズゲートエフェクトがアクティブであることを示すアラート (! NOISE GATE ACTIVE) が表示されます。ノイズゲートを無効にすると、マスターオーディオ入力レベルを確認できます。



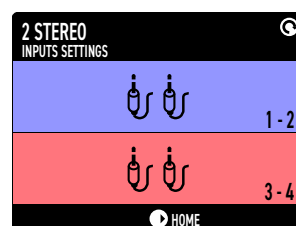
オーディオ入力の構成は、3種類あります：



4 x モノ入力



2 x モノ入力 + 1 x ステレオ入力



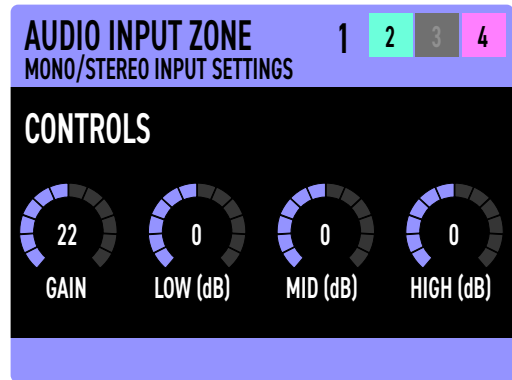
2 x ステレオ入力

ズーム・モード

サウンドゾーンのように、セレクトボタンを長押ししてズーム・モードに入ります。

オーディオゾーンの編集可能なパラメーターは次のとおりです：

- ・ *GAIN* (音量)
- ・ *LOW* (低域周波数の音量)
- ・ *MID* (中域周波数の音量)
- ・ *HIGH* (高域周波数の音量)

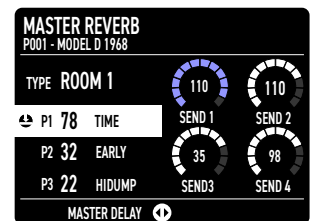
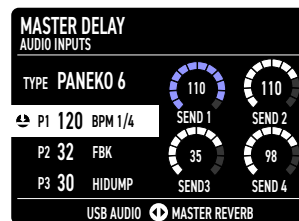


マスターエフェクト

オーディオ入力では、**マスターディレイ**と**マスターリバーブ**の2つの専用マスターエフェクトセクションにアクセスできます。

マスターエフェクトのページでは、以下を設定できます：

- ・ エフェクト・アルゴリズム (タイプ)
- ・ エフェクト・センド (入力ごと)
- ・ エフェクト・パラメーター (P1、P2、P3)

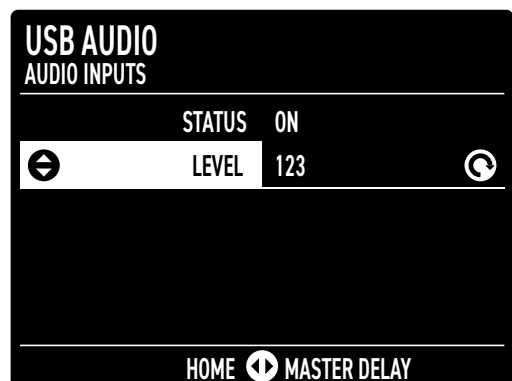


USB オーディオ

Numa X Pianoでは、USB端子を経由することで、さらに2つのオーディオチャンネルを使用できます。コンピューター、スマートフォン、タブレットとの接続に使用できます。USBオーディオを使用すると、DAWに録音したり、ソフト音源を演奏したり、外部デバイスからの音声をバックトラックとして利用できるようになります。

オーディオ入力のページから、**USBオーディオ**のページを見つけることができます。このページでは、USBオーディオのオン/オフ設定や、レベルの調整ができます。

USBオーディオのメインボリュームは、パネル上の**割り当て可能なノブ**で操作できます。割り当て可能なノブを長押しすると、USBオーディオレベルとオーディオ入力レベルのどちらかを選択できます。



MIDI 接続

外部デバイスをコントロールする

外部MIDIデバイスは、以下の2つの方法でコントロールできます：

● コモンチャンネル

グローバル設定 内のCOMMON CHANNELで1から16までの値を選択します。このオプションは、MIDIメッセージの1つのストリームのみを送信します。これは、1つのチャンネルでDAWを再生する最も簡単な方法です。グローバル設定では、音符のみを送信するか、コントロールチェンジ やプログラムチェンジ を含むすべてのメッセージを送信するかを選択できます。

● マルチチャンネル

外部MIDIにゾーンを割り当てることができます。各プログラムには、内部サウンドの再生や外部デバイスの制御に使用できる4つのゾーンがあります。MIDIボタンを押して、現在のゾーンをMIDIゾーンに変換します。

Numa X Pianoを外部コントローラーで演奏する

Numa X Pianoは、以下の2つの方法で外部コントローラーで演奏(コントロール)することができます：

● コモンチャンネル

グローバル設定 > COMMON CHANNEL で1 ~ 16の値を選択します。このオプションを使用すると、Numa X Pianoのキーボードを演奏するのとまったく同じように、外部コントローラーでNuma X Pianoを演奏することができます。

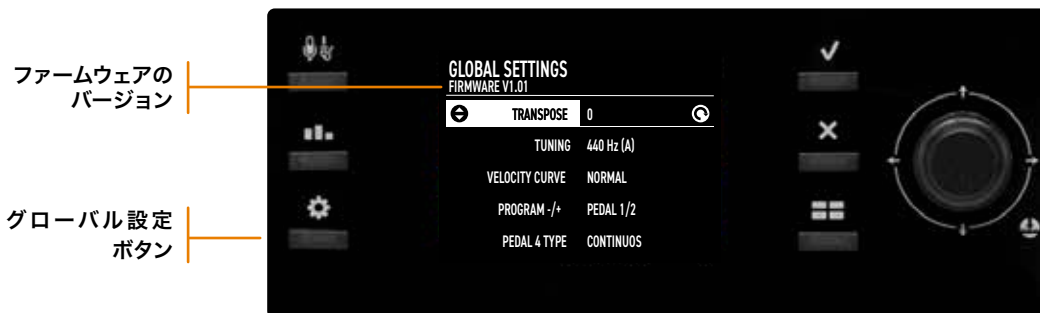
● マルチチャンネル

ステータスがオンまたはミュートのゾーンのチャンネルを直接演奏します。ミュートされているゾーンは外部コントローラーでのみ制御でき、Numa X Piano自身のキーボードでは再生できません。このオプションは、外部コントローラーから一部のゾーンのみを再生する場合に役立ちます。例えば、シンセやオルガンのサウンドを、Numa X Pianoのピアノ鍵盤ではなく、(ウェイトのない鍵盤を搭載している)外部キーボードから演奏したい場合などに適しています。

4つのゾーンはMIDIチャンネル1、2、3、4で受信します。

グローバル設定

グローバル設定ボタンを押すと、グローバル設定ページにアクセスできます（再度ボタンを押すことでページから抜けます）。



ファームウェアのバージョンとアップデート

ファームウェアをアップデートするには、<https://dirigent.jp/?tag=faq+numa-x-piano> にアクセスし、アップデートに関する記事の内容に従ってください。

機能リスト

このリストには、プログラムに関係なく機能する（グローバルな）すべての設定が含まれています。これらの設定は、機器の電源をオフにしても内容は保存されたままになります。メインエンコーダーを上下させパラメーターをスクロールし、回転して値を変更します。

TRANSPOSE (トランスポーズ)

他のキーに移調します。

エンコーダーを回転させて、±12半音の任意の移調を設定します。

TUNING (チューニング)

この機能を使用すると、楽器を「チューニング」できます。初期値は、A = 440 Hzで、設定可能な範囲は、427.5 ~ 452.9 Hzです。

LOCAL CONTROL (ローカルコントロール)

LOCAL OFF に設定すると、Numa X Pianoは、本機の鍵盤部分と内蔵音源部分が切り離され、キーボードで演奏した情報は内部音源には送られず（本体からは音が出なくなります）、USB-MIDI経由で、外部のMIDIデバイスのみ演奏情報が送信されます。MIDIマスターキーボードとして外部音源モジュールや外部ソフトウェアを使用する際、MIDI信号の不要なループなどを回避できます。

このコマンドは、MIDI経由でも受信されます。

COMMON CHANNEL (コモンチャンネル)

選択したチャンネル(1 ~ 16)を使用してNuma X Pianoをシングルチャンネルモードで使用できる機能です。USB-MIDI端子でのみ動作します。コモンチャンネルを使用すると、DAWやパネル設定でもMIDIパラメーター（ノート、コントローラーなど）を送受信できます。プログラムチェンジ、コントロールチェンジ、アフタータッチなど、一部のMIDIメッセージタイプをフィルタリングすることもできます（以下を参照）。

PROGRAM CHANGE (プログラムチェンジ)

コモンチャンネルがアクティブなときにプログラムチェンジメッセージをフィルタリングします。使用可能な設定は、OFF、SEND、RECEIVE、SEND / RECEIVEです。

CONTROL CHANGE (コントロールチェンジ)

コモンチャンネルがアクティブなときにコントロールチェンジMIDIメッセージをフィルタリングします。使用可能な設定は、OFF、SEND、RECEIVE、SEND / RECEIVEです。

AFTERTOUCH (アフタータッチ)

コモンチャンネルがアクティブなときにアフタータッチMIDIメッセージをフィルタリングします。使用可能な設定は、OFF、SEND、RECEIVE、SEND / RECEIVEです。

VELOCITY CURVE (ベロシティカーブ)

好みや演奏テクニックに応じて、さまざまなベロシティカーブを選択できます。4つのファクトリーカーブがあります：SOFT、NORMAL、HARD、FIXED。FIXEDを選択した場合は、次のVELOCITY FIXED（固定ベロシティ）パラメーターでベロシティ値を設定できます。

VELOCITY FIXED (固定ベロシティ)

ベロシティカーブがFIXEDに設定されている場合の値（1 ~ 127）を設定します。

KBD SENSITIVITY (鍵盤の感度)

現在のカーブを起点に、-25% (重い) ~ +25% (軽い) の範囲で感度を調整できます。

KBD B/W BALANCE (黒鍵 / 白鍵バランス)

鍵盤の黒鍵と白鍵のバランスを+/-15%の範囲で変更します。

STICK 1 X FUNC (スティック1 X軸の機能)

スティック1のX軸のMIDIコントロールをアサインできます。使用可能な設定は、OFF、PITCH BEND、MODULATIONです。

STICK 1 Y FUNC (スティック1 Y軸の機能)

スティック1のY軸のMIDIコントロールをアサインできます。使用可能な設定は、OFF、PITCH BEND、MODULATIONです。

STICK 2 X FUNC (スティック2 X軸の機能)

スティック2のMIDIコントロールをアサインできます。使用可能な設定は、OFF、MODULATION、FX A AMOUNT、FX A P1、FX A P2、FX A P3、FX B AMOUNT、FX B P1、FX B P2、FX B P3です。

PEDAL 1 TYPE (ペダル 1の種類)

Ped1端子に接続するペダルの種類を設定します。使用可能な設定は、SWITCH、CONTINUOUS A、CONTINUOUS Bです。

PEDAL 1 FUNC (ペダル 1の機能)

Ped1端子に接続するペダルに次の機能をアサインできます：OFF、SOSTENUTO、SOFT、DAMPER、EXPRESSION、VOLUME、FX A/Bパラメーター、PROGRAM +/-、MIDIコントロールチェンジ：2 (プレスコントローラー) ~ 119。

PEDAL 2 TYPE (ペダル 2の種類)

Ped2端子に接続するペダルの種類を設定します。使用可能な設定は、CONTINUOUS A、CONTINUOUS B、SWITCHです。

PEDAL 2 FUNC (ペダル 2の機能)

Ped2端子に接続するペダルに次の機能をアサインできます：OFF、SOSTENUTO、SOFT、DAMPER、EXPRESSION、VOLUME、FX A/Bパラメーター、PROGRAM +/-、MIDIコントロールチェンジ：2 (プレスコントローラー) ~ 119。

PEDAL 3 TYPE (ペダル 3の種類)

Ped3端子に接続するペダルの種類を設定します。使用可能な設定は、SWITCH、CONTINUOUS A、CONTINUOUS B、SLP3-D (Studiologicの3本ペダル) です。

PEDAL 3 FUNC (ペダル 3の機能)

Ped3端子に接続するペダルに次の機能をアサインできます：OFF、SOSTENUTO、SOFT、DAMPER、EXPRESSION、VOLUME

ME、FX A/Bパラメーター、PROGRAM +/-、MIDIコントロールチェンジ：2 (プレスコントローラー) ~ 119。上のPEDAL 3 TYPE (ペダル3の種類)でSLP3-Dを選択した場合は、PIANO PEDALSのみ選択可能です。

① 各ゾーンのスティックとペダルの値は、グローバル設定より優先されます。

FACTORY RESTORE (工場出荷時状態の復元)

Numa X Pianoのすべての設定を、工場出荷時の状態に復元します。メインエンコーダーを押すと実行されます。

① この機能は、すべてのプログラムを削除し、工場出荷時の設定に置き換えます。復元を行う前に、Numa Managerアプリでカスタムプログラムを保存することができます。

宣言

保証について

Fatar社Studiologicブランドのすべての製品は、細心の注意を払って製造、測定、動作テストを行っています。これにより、2年の保証期間を設けています。サポートを受けるために、Dirigentマイページにお客様お持ちの製品のご登録をお願いいたします。

<https://dirigent.jp/mypage-studiologic-register>

尚、不適切な運搬、設置、取扱いが原因による故障につきましては、保証の対象外とさせていただきますのでご注意ください。また、機器の価格を上回る補償は、除外されますのでご了承ください。

これらは、伊Fatar社ならびに代理店が定める一般的条件に基づいています。

CE準拠

Fatar社 (FATAR srl: Zona Ind.le Squartabue, 62019 Recanati MC Italy) は、この製品がヨーロッパの基準に従って製造された製品であることを宣言いたします。



- 2014/30/EU: EMC司令
- DIN EN 55032: マルチメディア機器の電磁両立性 - エミッション要件
- DIN EN 55035: マルチメディア機器の電磁両立性 - イミュニティ要件

承認なく機器を改造された場合、この宣言は無効となります。

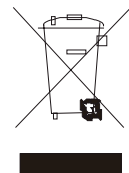
RoHS準拠

この製品は、2002/95/ECの基準に準拠して製造されています。



廃棄について

このEC指令2003/108/ECの第一の目的は、廃電気電子機器 (WEEE: Waste Electrical and Electronic Equipment) の防止です。それに加えて再利用、リサイクル、回収により廃棄物の削減を目標としています。環境保全のためにご協力をお願いいたします。



技術水準

最良の品質を保証するために、Studiologic製品は、常に最新の技術で設計されています。告知なく、アップデート、仕様の変更、改良等を行う場合があります。そのため、技術仕様ならびに製品の外観は本マニュアルと異なる場合がございますので、ご了承ください。

商標

本マニュアルのすべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

著作権

本マニュアルの一部もしくは全部を、著作権利者の許可なく、いかなる形式において複製、転送することを禁止いたします。

FATAR srl
Zona Ind.le Squartabue, 62019 Recanati, Italy

付録

サウンドリストとMIDI マップ

Numa X Piano内蔵のサウンドリストです。

MIDI経由でもすべてのサウンドを選択できるように、各サウンドはそれぞれ固有のプログラムチェンジとバンクセレクトを持っています。

A. PIANO

BANK SELECT LSB 0

SOUND NAME	PROGRAM CHANGE
GerGrand	0
JpnGrand	1
UsaGrand	2
ItaGrand	3
VintGrand	4
AusGrand	5
BluGrand	6
PopGrand	7
RockGrand	8
Upright	9
HonkyTack	10
Saloon	11
E-Grand1	12
E-Grand2	13
E-Grand3	14

KEYS

BANK SELECT LSB 2

SOUND NAME	PROGRAM CHANGE
ClavinexA	0
ClavinexB	1
ClavinexC	2
ClaviMuted	3
DX-Clavi1	4
DX-Clavi2	5
DX-Clavi3	6
DX-Piano	7
Harpsi1	8
Harpsi2	9
Vibes1	10
Vibes2	11
Marimba	12
Xilophone	13
Celesta	14
Bells	15
Clocken	16
ToyPiano	17
MellBrass	18
MellCho	19
MellFlute	20
MellStrngs	21
SolinaStr	22
InstaStr	23
LoganStr	24

E. PIANO

BANK SELECT LSB 1

SOUND NAME	PROGRAM CHANGE
EP-MarkI	0
EP-MarkII	1
EP-Suitcase	2
EP-70ties	3
EP-Drive	4
Wurly255	5
Wurly200	6
Wurly120	7
Wurly110	8
E-Pianet1	9
E-Pianet2	10
HybridFM1	11
HybridFM2	12
HybridFM3	13
HybridFM4	14
HybridFM5	15
HybridFM6	16
HybridFM7	17
HybridFM8	18
HybridFM9	19

BASS/GUITARBANK SELECT LSB **3**

SOUND NAME	PROGRAM CHANGE
AcBass1	0
AcBass2	1
E-Bass1	2
E-Bass2	3
E-Bass3	4
E-Bass4	5
Fretless1	6
Fretless2	7
PickBass1	8
PickBass2	9
SlapBass	10
Bass&Ride1	11
Bass&Ride2	12
ClassicGtr	13
AcousticGtr	14
12 Strings	15
JazzGuitar	16
Les-Guitar	17
El-Guitar1	18
El-Guitar2	19
El-Guitar3	20
BrightGtr	21
CleanGtr	22
AcGtrMute	23
ElGtrMute	24

ORGANBANK SELECT LSB **4**

SOUND NAME	PROGRAM CHANGE
Pure888	0
Scan888	1
JazzOrg1	2
JazzOrg2	3
JazzOrg3	4
RockOrg1	5
RockOrg2	6
MidDrawb	7
PopOrgan	8
SilkSetting	9
FullDrawb	10
MildVibSet	11
FullVibSet	12
OrgWave1	13
OrgWave2	14
OrgWave3	15
OrgWave4	16
OrgWave5	17
VintPerc1	18
VintPerc2	19
F-Organ	20
V-Organ	21
Diapason	22
FullSwell	23
FullOrgan	24

SYNTH

BANK SELECT LSB **5**

SOUND NAME	PROGRAM CHANGE
SynthPad1	0
SynthPad2	1
SynthPad3	2
VocalPad	3
ChoirPad	4
WowPad	5
SynthHouse	6
PwmSolo	7
PwmFunk	8
SynthBass1	9
SynthBass2	10
JumpSaw	11
SawBrass	12
BigDance	13
Monster	14
Enharmonic	15
Chillar	16
SynthHow1	17
SynthHow2	18
SynthHow3	19
SawWave	20
SawthDual	21
SawthQuint	22
SawthOcta	23
SawClust1	24
SawClust2	25
SquareWave	26
SquareDual	27
SquareQuint	28
SquareOct	29
SquareClust1	30
SquareClust2	31
Pulse12-Wav	32
Pulse12-Dual	33
Pulse12-Quint	34
Pulse12-Oct	35
Pulse12-Clust1	36
Pulse12-Clust2	37
Pulse25-Wave	38
Pulse25-Dual	39
Pulse25-Quint	40
Pulse25-Oct	41
Pulse25-Clust1	42
Pulse25-Clust2	43
Triangle-Wave	44
Triangle-Dual	45
Triangle-Quint	46
Triangle-Oct	47
Triangle-Clust1	48
Triangle-Clust2	49

ORCHESTRA

BANK SELECT LSB **6**

SOUND NAME	PROGRAM CHANGE
StringsEns	0
StringsExpr	1
StrBasses	2
StrCellos	3
StrViolas	4
StrViolins	5
StrStaccato	6
StrPizzicato	7
StrTrem1	8
StrTrem2	9
StrSection	10
StrSympho	11
Cinema1	12
Cinema2	13
Cinema3	14
TenorSax	15
Oboe	16
EngHorn	17
JazzFlute	18
AltoFlute	19
PanFlute	20
FrencHorn	21
HornSection	22
EnglisHorn	23
Tuba	24
Trombone1	25
Trombone2	26
Trombone3	27
Bassoon	28
BassonSection	29
SopranoSax	30
GerTrompete	31
OrchTrumpet	32
JazzTrumpet	33
Brass	34
BigBand	35
BrassFall	36
SaxSection	37
Baroque	38
Timpani	39

SOUND NAME	PROGRAM CHANGE
Cassotto	0
Accordion1	1
Accordion2	2
FisaMaster	3
Musette	4
Harmonica	5
Harmonium	6
ChoirAh	7
ChoirOh	8
ChoirUh	9
ChoirSy	10
Bouzouki	11
Kanoun	12
Oud	13
Cawala	14
Mizmar	15
Nay	16
SteelDrum	17
DrumKit1	18
DrumKit2	19

MIDIの様子は告知なく変更になる場合がございます。

製品サポートについて

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。

なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigentマイページへのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■ Dirigent へのご登録方法：

【新規でDirigent取扱製品を登録する場合】

「<https://dirigent.jp/mypage-studiologic-register>」にアクセスし、新規登録をお願いいたします。

【既にDirigent取扱製品を登録されている場合】

「<https://dirigent.jp/mypage-log-in>」にアクセスし、マイページにログインの上、製品の追加登録をお願いいたします。

■ 製品の使用方法や故障、トラブルのお問い合わせ：

製品登録後、上記マイページにログインし、「お問い合わせフォーム」からお問い合わせください。

Studiologic日本総代理店：

株式会社銀座十字屋ディリгент事業部

<https://dirigent.jp/>

 **studiologic**

Dirigent

日本総代理店：株式会社銀座十字屋ディリгент事業部

<https://dirigent.jp/>